外来糖尿病診療の管理状況

内分泌･代謝内科

糖尿病診療の指標

HbA1c

- 平均値とその経年変化
- 薬物治療中の患者における

  HbA1c7%未満の達成率

  （日本病院協会のQIプロジェクトに準ずる）

方法

・対象

2018年9～11月に当科外来を受診し、以下を満たす患者。

① 糖尿病又は耐糖能障害と診断されている

② 3か月以上継続して外来通院している

・項目

HbA1c値、身長、体重、BMI、血圧、脂質、随時血糖値、グリコアルブミン値、尿酸値

臨床データ

	2007年 972名	2012年 1318名	2015年 651名	2018年 951名
収縮期血圧（mmHg）	131	132	132	131
拡張期血圧（mmHg）	74.7	77.6	77.4	76.2
脈拍（bpm）	79.2	81.9	96.9	81.3
体重（kg）	61.3	63.2	66.9	64.4
身長（cm）	160	162	162.6	161.5
BMI	24.1	24.3	25.1	24.7

＊抽出した全患者平均

生化学検査

	2007年 972名	2012年 1318名	2015年 651名	2018年 951名
随時血糖 （mg/dl）	154	157	163	157
グリコアルブミン （%）	21.4	19.3	18.9	21.0
LDLC （mg/dl）	108	100	107	101
HDLC （mg/dl）	55	51	50	54
TG （mg/dl）	130	150	183	164
UA （mg/dl）	5.7	5.6	6.0	5.4

＊抽出した全患者平均

糖尿病患者における治療法別HbA1c推移

	2007年	2012年	2015年	2018年
	HbA1c (%) 人数 年齢			
投薬なし	6.6 140 62.1	6.5 214 64.3	6.2 55 61.3	6.3 54 61.6
経口薬	7.1 513 65.9	6.9 714 64.8	7.3 433 62.1	7.1 386 65.1
インスリン	7.5 319 64.0	7.4 390 64.3	7.6 163 60.8	7.5 194 66

＊2014・2015年はNGSP値。2007・2012年は便宜上JDS値+0.4を表記

薬物治療中の患者における HbA1c7%未満の達成率

	2015年	2018年
HbA1c7%未満の達成率(%)	45.0	47.4

＊HbA1c7%未満の患者数/糖尿病の薬物治療を施されている外来患者数

全国病院会QIプロジェクトの2016年報告では、
平均値51.4%（前年比-0.4） 中央値50.8%（前年比-30.9）
最大値82.4%（前年比-17.1） 最小値21.0%（前年比+5.0）

2013年　熊本宣言

	コントロール目標値 注4)		
目　標	血糖正常化を目指す際の目標 注1)	合併症予防のための目標 注2)	治療強化が困難な際の目標 注3)
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標（HbA1c値）

患者の特徴・健康状態[注1]		カテゴリーⅠ		カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ
		①認知機能正常 かつ ②ADL自立		①軽度認知障害～軽度認知症 または ②手段的ADL低下，基本的ADL自立	①中等度以上の認知症 または ②基本的ADL低下 または ③多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤，SU薬，グリニド薬など）の使用	なし[注2]	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり[注3]	65歳以上75歳未満 7.5%未満（下限6.5%）	75歳以上 8.0%未満（下限7.0%）	8.0%未満（下限7.0%）	8.5%未満（下限7.5%）

治療目標は，年齢，罹病期間，低血糖の危険性，サポート体制などに加え，高齢者では認知機能や基本的ADL，手段的ADL，併存疾患なども考慮して個別に設定する．ただし，加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する．

年齢別 HbA1c7%、8%未満の達成率

HbA1c	＜7%	＜8%
全体	47.4	76.4
～69歳	54.0	82.4
70歳～	44.6	78.3
80歳～	42.5	75.0